



東急電鉄



2017年8月1日

渋谷駅街区開発計画の施設名称が「渋谷スクランブルスクエア」に決定

オフィス・商業施設のリーシングを開始

—2019年度、渋谷エリア最高となる高さ約230メートル、地上47階建の第Ⅰ期(東棟)開業—

東京急行電鉄株式会社

東日本旅客鉄道株式会社

東京地下鉄株式会社

東京急行電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社(以下、総称して「事業者」という)が推進し、2019年度開業を予定している「渋谷駅街区開発計画」について、施設名称を「渋谷スクランブルスクエア/SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE」に決定し、オフィスおよび商業施設のリーシングを開始します。

「渋谷スクランブルスクエア」の名称には、多様な人々を渋谷の街に惹きつけ、混じり合うことにより、渋谷の中心からムーブメントを発信し、新たな文化を生み出すステージにしたい、という想いが込められています。また、ロゴマークは漢字の「渋」をモチーフに開発しています。

2019年度に開業予定の第Ⅰ期(東棟)は、渋谷エリア最高となる、高さ約230メートル・地上47階建で、高層部にはハイグレードオフィス、中低層部には大規模商業施設を備えます。

オフィスは、総賃貸面積約73,000㎡のハイグレードオフィスで、基準階(最大約870坪)は渋谷最大級の広さを誇り、全フロアから都心の眺望を堪能できます。商業施設は、地下2階～地上14階の都市型商業施設として、変化と創造の街・渋谷にふさわしく、心が躍る瞬間や心に響く瞬間が体験できる「世界最旬の商業施設」を目指します。コンセプトは「ASOVIVA(※)」とし、憧れやワクワク感を求めてさまざまな人々が集まり、「情報鮮度」「本物・本質」「共感・つながり」を具現化する、日本一楽しくて、ハレな「遊び場」を作ります。第Ⅰ期(東棟)の売場面積は約30,000㎡で、2027年度予定の第Ⅱ期(中央棟・西棟)の完成時には合計で約70,000㎡となる大規模商業施設となります。

このほか、最上部には屋外展望施設、中層部には産業交流施設を備え、街のランドマークとして新たな価値とにぎわいをもたらす、駅直結の大規模施設となります。なお本施設は事業者が共同出資する「渋谷スクランブルスクエア株式会社」が運営をする予定です。(※「遊び場」と「VIVA＝生きる、万歳、うれしい事を意味する言葉」を掛け合わせた造語)

■全体完成イメージ



■ロゴマーク



SHIBUYA
SCRAMBLE
SQUARE

(商標登録出願手続き中)

以 上

(別紙)

■渋谷駅街区開発計画Ⅰ期(東棟)の計画概要

事業主体 東京急行電鉄株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 東京地下鉄株式会社

所 在 東京都渋谷区渋谷二丁目23番 外

用 途 事務所、店舗、展望施設、駐車場等

延床面積 約181,000㎡ (参考 全体完成時 約276,000㎡)

階 数 地上47階 地下7階

高 さ 約230m

設 計 者 渋谷駅周辺整備計画共同企業体

- ・(株)日建設計
- ・(株)東急設計コンサルタント
- ・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所
- ・メトロ開発(株)

デザイナー・アキテクト(駅街区)

- ・(株)日建設計
- ・(株)隈研吾建築都市設計事務所
- ・(有)SANAA事務所

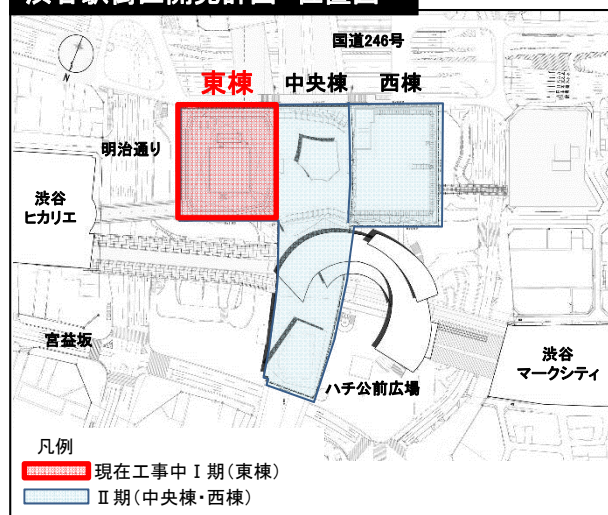
施 工 者 渋谷駅街区東棟新築工事共同企業体

- ・東急建設(株)
- ・大成建設(株)

予定工期 2014年度～2019年度

開業時期 2019年度

渋谷駅街区開発計画 位置図



オフィス

- ・渋谷駅周辺最大級となる賃貸面積約73,000㎡のハイグレードオフィス

展望施設

- ・エンタテインメントシティSHIBUYAの核として、街の魅力をさらに高める展望施設（超高層ビルの屋上を全面的に活用したものでは日本最大級）

交流施設

- ・クリエイティブ・コンテンツ産業のイノベーションを促進する交流施設

商業

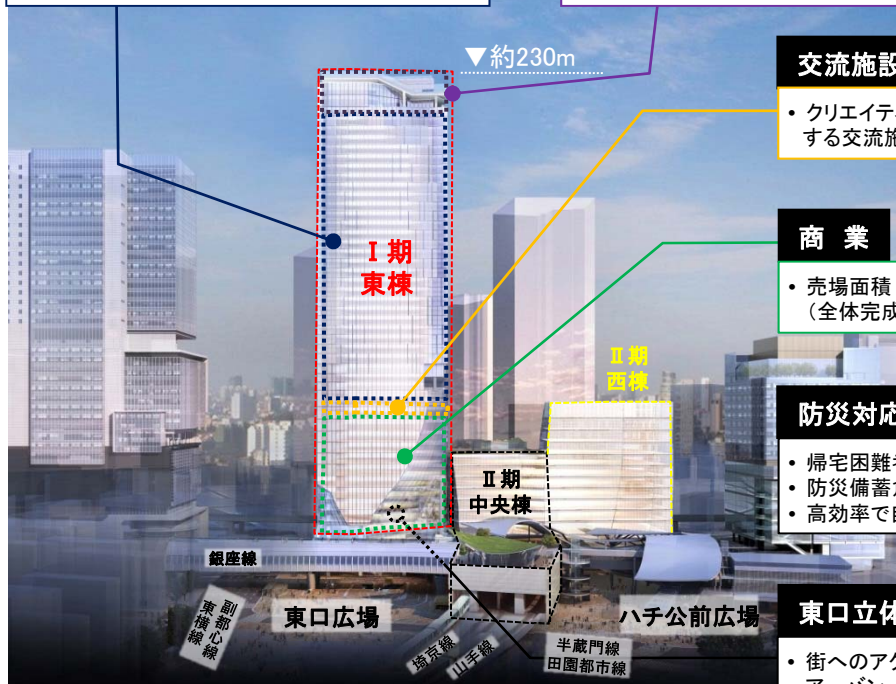
- ・売場面積 約30,000㎡ の大規模商業施設（全体完成時・駅直上約70,000㎡）

防災対応機能の整備

- ・帰宅困難者受入れ空間の確保
- ・防災備蓄倉庫の整備
- ・高効率で自立性の高いエネルギーシステムの導入

東口立体交通広場の整備

- ・街へのアクセス性や鉄道乗換の利便性・快適性の向上
- ・アーバン・コアによりつながれた多層にわたる空間



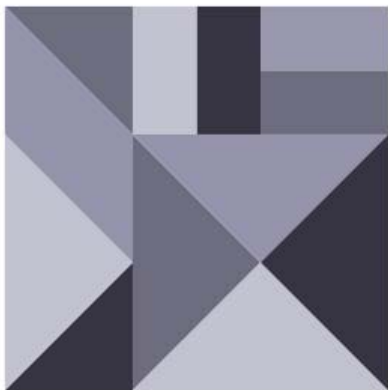
■施設名称：「渋谷スクランブルスクエア／SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE」

「混じり合い、生み出され、世界へ」

「エンタテインメントシティSHIBUYA」としての成長を目指す渋谷の中心に位置する本施設は、多様な人々が「交流／混じり合う（SCRAMBLE）」ことにより、常に新しい何かが生み出されている「SQUARE（街区／広場）」であることを表現しています。世界中に知られる日本を代表する名所、渋谷のスクランブル交差点に面する新たな「SQUARE（街区／広場）」として、渋谷の中心からムーブメントを発信し、新たな文化を生み出すステージとしたいという思いが込められています。

■施設ロゴ

新たに渋谷の顔となる「渋谷スクランブルスクエア」を漢字の「渋」をモチーフに開発しています。正方形の中に、水平・垂直・斜めの分割線で構成したスクランブルグリッドを使用して、「渋」の造形を作り上げています。日本を代表する「場」に世界中から人が集まり「交流」し、新しい価値を生み出していくことを意図し、漢字は外国人にも日本のオリジナリティとして好まれることから「渋谷から生まれ海外へと発信する」ことも表現しています。



SHIBUYA
SCRAMBLE
SQUARE

（商標登録出願手続き中）

■運営会社

「渋谷スクランブルスクエア株式会社」

- * 東京急行電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社の3社共同出資
- * 本商業施設に関するお問合せ先：03-6712-6042

■全体完成イメージ（渋谷駅周辺の鳥瞰図）



■商業施設フロア
イメージ



■商業施設飲食フロア
イメージ



■オフィスロビー
イメージ



■オフィスフロア
イメージ



※現時点でのイメージであり、今後の検討により変更される可能性があります。

以 上